

年頭にあたり、新年のご挨拶をさせていただきます。

昨年、私はこの場で「庚子(かのえ・ね)」の年は、改革や変貌の年、新しい芽が生まれる準備に入る年、と話しました。

それが、昨年は誰にも予想できなかったコロナ禍による社会変革という形で現れた年でした。

新型コロナウイルスによるパンデミックで日本のみならず世界全体が打撃を受け、社会秩序が不穏な年となり、日本も大きな影響を受け社会生活そのものが変革させられました。

さらには、日本では内閣総理大臣の交代、日中韓における静い、アメリカでは大統領選の混乱など怒涛の一年になりました。経済の打撃と医療崩壊や社会生活の変革とともに、危機や社会変革に対する個人の意識や企業の対応力、その重要性が改めて認識させられた年でした。

今年も、いまだ新型コロナウイルスによる感染の収束が見えず不穏な状況が長期化する様相であり、引き続き社会環境に予断を許さない年でもあります。

このような社会不安の中、当社は引き続き陣容の強化を図り、常にスマートでクレバーな行動で改革を続けながら企業力の向上を続ける企業であろうと、あらためて肝に銘じたいと思います。

さて、今年は「辛丑(かのと・うし)」の年です。どのような年かといえますと、「辛(かのと)」は「草木が枯れる状態」、「丑(うし)」は「芽が出ようとする状態」で、古いものが朽ちて新しい芽が出ようとする年とのことです。

従って辛丑の今年は変化が生まれる状態、昨年に引き継いで古いものから脱却し、新しいものへの移行がなされようとする年であります。

今年は国会の衆院解散・総選挙が控えており、さらにはアメリカ大統領移行の混乱と新大統領による政策の行方、及び中国を主とするアジア地域などから起因する国際情勢の混乱、と昨年同様に社会環境の変動が大きい年になることが予想されます。

そのような社会環境の変動が当社にとって何がどの程度影響するか、予測は困難ですが、守りにならず変革を伴った将来に繋がる積極的な社風を築いていきましょう。

そこで当社に目を向けますと、今年は新しい中期経営計画を始める年でもあります。

まだ新計画を策定中ですが、現中期経営計画が順調に達成されるとともに、微量分析やアスベスト関連など近年の比較的新しい事業セクターが当社の柱の一つになり、IT プロジェクトの成果もあがりつつある、さらに社内で改善・提案に対する気風も高まりつつある、それらをさらに推進していくことに変わりはありません。

当社を、スマートな社風のインテリジェントな会社に変革させたい、という私の思いが皆さんの努力で地道に実りつつあると感じております。

これからも、業務の効率化の速度を上げてさらに推進していきましょう。そのために業務のシステムチックな効率化、IT 化、ペーパーレス化への投資を積極的に進めていきます。

また、以前から言ってますように、各チームそれぞれが閉鎖的にならず、情報の共有化と全員がマルチプレイヤーとなり有機的・臨機応変に人員配置が出来るようになることを目指してください。

その上で、最も大切なことは何をするにしても基本に忠実に一流意識を持って「品質と信頼」にこだわり続けることが重要です。

当社は体制面でも業務面でも、課題はまだたくさんありますが、個々の皆さんの実力や業務に対する意識は素晴らしいと感じております。

今年も全員が常に改善意識を持ちレベルアップする努力をしてください。まだまだ工夫の余地やアイデアの出所があります。また、各チームにおいては最大限に力を発揮できるチーム力を構築し、成長を続ける会社を目指して頂きたい。

最後になりますが、今年が皆さんにとって良い年になるよう祈念し、決意を持って各個人も会社も着実に前進していきましょう。

令和3年 1月4日 井川 清光